

KOGA IDOL

今月の古河っ子

いいこが
育つ古河



北島大煌 くん

(平成29年12月生まれ・谷貝)



並木陽麻葵 ちゃん

(平成27年12月生まれ・関戸)



酒寄結花 ちゃん

(平成29年4月生まれ・西牛谷)

心も身体も健康に育ってね！ 大煌に沢山の幸せが訪れますように。
(父：和明、母：里美)

プリキュア大好き♡ひまわりちゃん！ 将来の夢はキュアエール？
(父：太郎、母：麻由美)

いたずら大好き結花ちゃん。家族みんなの宝物だよ！
(父：拓也、母：恵)

お子さんの写真を募集中！ <対象> 0～3歳の市内在住のお子さん <応募方法> メール・電話で受付中。メールのタイトルを「今月の古河っ子応募」とし、本文に「お子さんの氏名(ふりがな)・生年月日・父母の氏名・住所・電話番号」を明記し、hisho.kouhou@city.ibaraki-koga.lg.jp(秘書広報課)へ申し込みください♪



わたしの夢

子どもを笑顔にする保育士に

細小路凜さん 古河第三小学校6年生

私の将来の夢は、保育士になることです。その理由は、小さな子供達のお世話をすることが好きだからです。

保育士になれば、たくさんの子供達とふれ合うことができます。大変なこともあるかもしれませんが、とてもやりがいのある仕事だと思います。

小さな子供達を笑顔にできるような、そんな保育士になれるようにがんばりたいです。



キラリ☆輝く人たち

建築物に残されたメッセージを後世に

加藤誠洋 さん(東山田・53歳)

市内で建築設計のほか、歴史的建築物の調査などを行う加藤さん。いばらきデザインセレクション2018では、市内の築100年以上の旧酒井家住宅を飲食店に改修した「SAKAKAN CAFE」、常総市の酒蔵会社の店舗をフレンチレストランへ改修した「BRASSERIE JOZO」が選定。建物の歴史を見つめ、その個性と魅力を次代へ引き継ぐ加藤さんに思いを伺いました。



持って生まれた好奇心

東京都葛飾区に生まれ、中学生の時に祖母の住む三和町へ引っ越してきた加藤さん。建築士の資格を持ち、鉄骨業を営む父の姿を見ていたため、小学生のころから部屋の間取りや設計等に興味を持っていたと言います。

15歳で建築の道に進むことを決めた加藤さんは、栃木県の小山工業高等専門学校建築学科に進学。先生や先輩から教えてもらうこと全てが刺激的で、模型作りや現地調査を夢中になって行っていました。学べば学ぶほど建築物への好奇心は高まり、近代から現代の建築物やその歴史に深くのめり込んでいきました。

隠された痕跡を次代へ

23歳で独立した加藤さんは、歴史的建造物の調査と建築設計を柱として仕事を行っています。歴史的建造物の調査では、桜川市真壁町をはじめ、結城市や栃木市などの民家や文化財の調査を30年以上行っているそうです。その理由は、「この建築物の歴史

はどこに刻まれているのか」「どこに建築物の持つ価値が隠されているのか」を推理しながら考えるのが楽しいからと笑いながら話します。改修時には、建築物が建てられた時代や改修された時の痕跡を見つけ、残されたメッセージを探し、見つけ出した価値を残すことを心掛けています。

人生は100年時代と言われています。しかし、建築物は100年を超えて残される可能性のあるからこそ、その価値を見つけ守り続けることが、建物や建築主への敬意だと加藤さんは話します。また、現在行っている調査は、後世に残すべき歴史的建造物を復元する時の正確な材料になるはずと力を込めます。

夢を追い続けて

現在、加藤さんが取り組んでいるのは、国重要伝統的建造物群保存地区に選定されている栃木市嘉右衛門町の調査。エリア内の歴史的建造物約150棟の実測調査を行い、建物の規模、構造、痕跡、梁に記された墨書などから建



▲自身が調査した図面の説明をする加藤さん

築年代・増改築の歴史等を明らかにします。地道で果てしない作業の連続ですが「以前に修繕された箇所はどこなのか」「昔の姿、用途はどうだったのか」を、一つ一つ推理して解析していきます。この調査を始めて約2年が経過しますが、調査はまだ道半ばです。しかし、歴史的な街並みを後世に残すために調査し、記録をまとめあげることが自身の夢でもあり集大成であると加藤さんは話します。10年かかる調査ですが、成し遂げたいと話す瞳は、少年のように輝いていました。